

フロントベゼルなしタイプの投影型静電容量方式組込用タッチモニターを フロントパネル板金へ取り付ける場合の手順

フロントベゼルなしタイプの投影型静電容量方式の組込用タッチモニターをお客様の筐体に組み込む際に、筐体面とタッチ面を同一にする（フラッシュマウント）ためのガイドです。製品図面に記載された顧客パネルより薄いパネル（6mm 以下の板金パネル）を使用される場合は、特に参考にしてください。

注意)ミニベゼル付きタイプの場合は UM600100 の手順を参照下さい。

製品図面に記載された顧客パネルの範囲の厚みの取り付けに関しましては、製品図面も参考にして下さい。

備考)取付金具の個数は、製品によっては異なります。

また、ブラケットの形状や構成などは製品毎に異なりますので、あらかじめ図面あるいは 3D の CAD モデルも参照してください。

注意) 板金のシャープエッジの処理は必ず行って下さい。

また、タッチ面に金属筐体を密着させる場合は、タッチエリア（表示エリア）に金属筐体を近づけないようにしてください。少なくとも 10mm 以上は離すことを推奨します。また、タッチエリア周辺に用いるフォーム材などには導電性のものを用いないようにしてください。

1. 各辺に幅が広いブラケット1個で固定するタイプ

対象モデル: 1093L/1991L/2294L

注意) 図は 2294L 用を用いて記載されていますので、それ以外のモデルの詳細は異なります。(ブラケット数、形状及び構成など)

1.1 フロントパネル板金の裏側にボス (メスネジのスタッド) を取り付ける方法

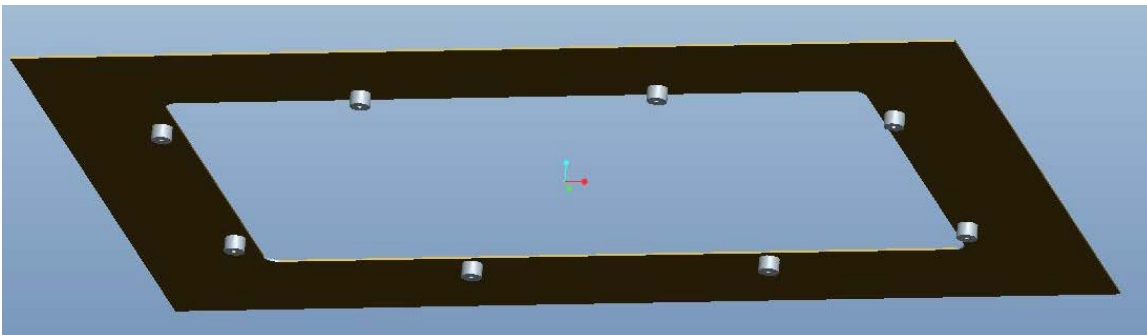
- 1) 板金の裏面にボス (高さはブラケットのアジャスト範囲を考慮して5から10mm程度) を取り付ける。

開口部寸法は、タッチパネルガラス寸法+1mm程度にする。

注意) 本説明では背面から取付を想定しています。製品図面は前面からの取付を想定していますので、若干大きめの開口寸法になっています。

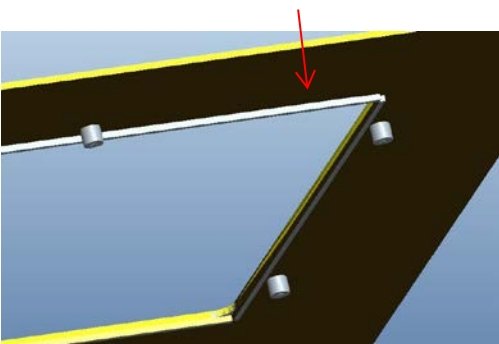
ボスの取り付け位置は各製品図面を参照してください。

不明な場合は、弊社までお問い合わせください。



更に、フロントパネルとタッチモニター間のシーリングをより効果的にするために、板金開口部の背面に、厚さ3mm程度の柔らかいフォームテープ (黒が推奨) などを貼ることを推奨します。

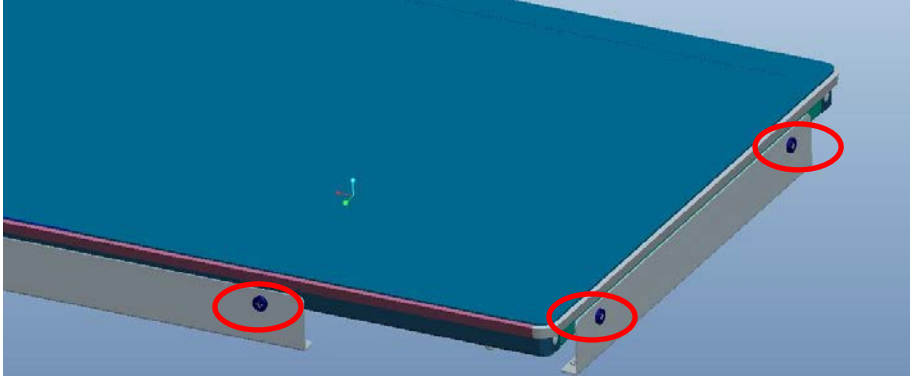
注意) フォーム材は非導電性のものを使用すること。



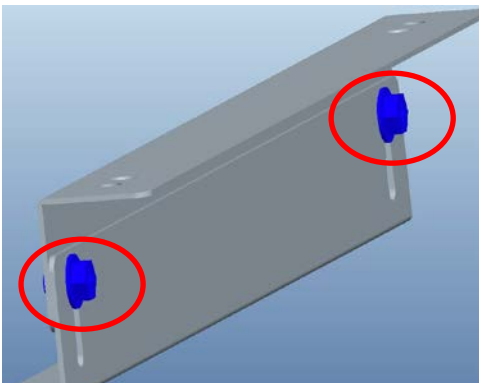
備考) フォームテープが入手しづらい場合は、フォーム材と両面テープを別々に購入し、まず両面テープを板金に貼り、細長くカットしたフォーム材を両面テープに貼ってください。

2) タッチモニター（以降 TM）に Flush mount 用の組み立てたブラケットを取り付ける。

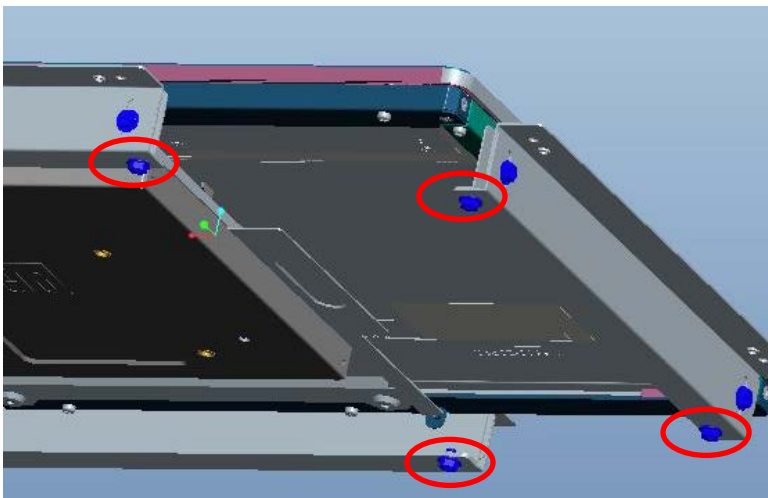
a) TM に TM 用ブラケットを平頭の M4 ネジで固定する。



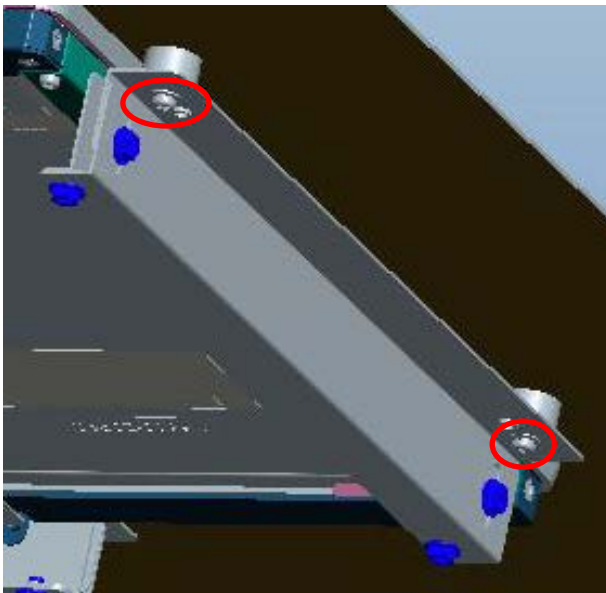
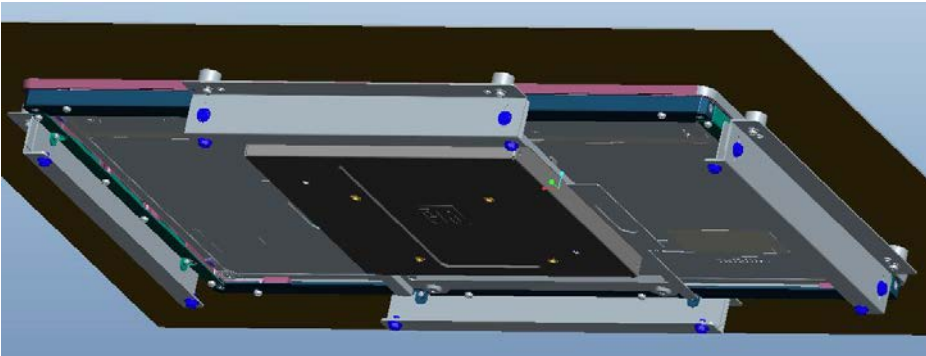
b) 筐体側に取り付け用のブラケット 2 つを M4 ネジで軽く締める。



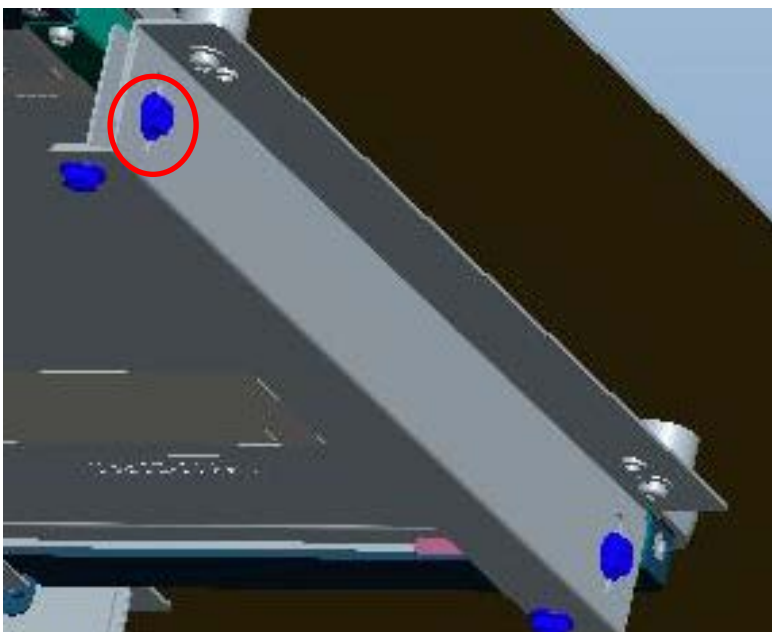
c) そのブラケットを TM 側のブラケットに M4 ネジで固定する。



3) フロントパネル背面に TM を取り付け、ネジで固定する。(非同梱)

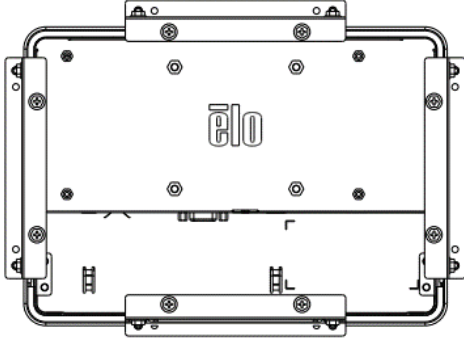


4) タッチ面と板金面の高さを微調整後、側面の M4 ネジを強く締め、完了です。

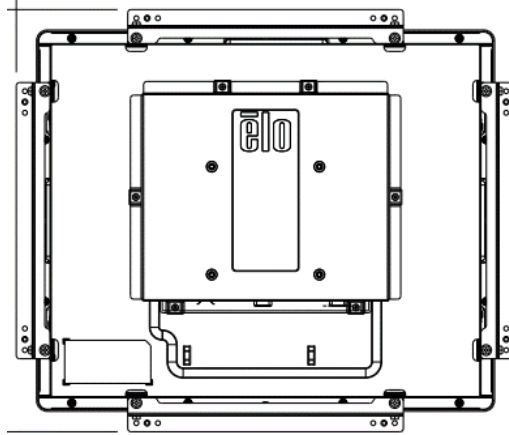


備考)1093L と 1991L は以下のようなブラケットの位置で上下左右各 1 個になります。

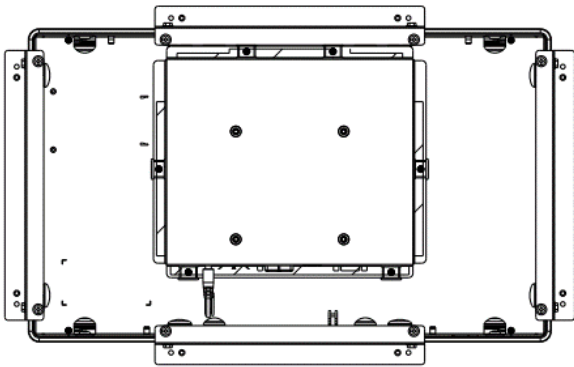
1093L



1991L



2094L



2. 幅が狭いブラケットを1辺に複数で固定するタイプ

対象モデル: 1594L/2494L/2794L

注意) 図は 1594L 用を用いて記載されていますので、それ以外のモデルの詳細は異なります。(ブラケット数、形状及び構成など)

2.1 フロントパネル板金の裏側にボス (メスネジのスタッド) を取り付ける方法

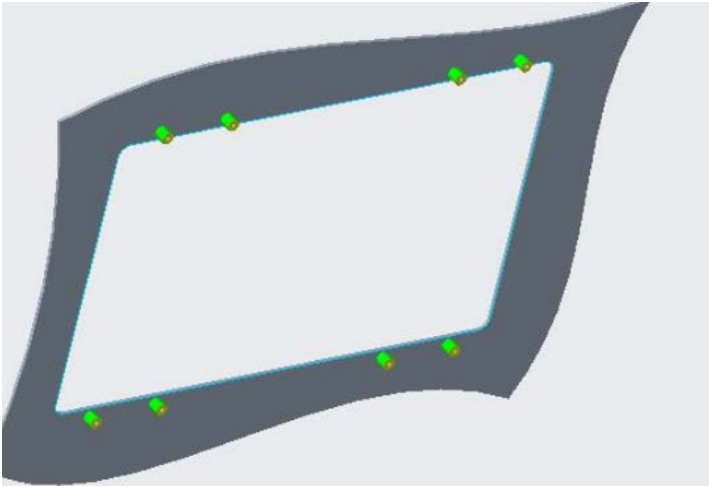
- 1) 板金の裏面にボス (高さはブラケットのアジャスト範囲を考慮して 5 から 10mm 程度) を取り付ける。

開口部寸法は、タッチパネルガラス寸法+1mm 程度にする。

注意) 本説明では背面から取付を想定しています。製品図面は前面からの取付を想定していますので、若干大きめの開口寸法になっています。

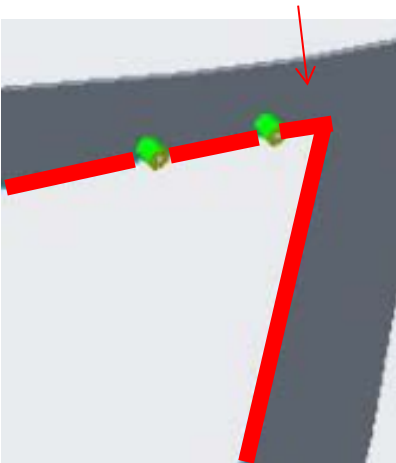
ボスの取り付け位置は各製品図面を参照してください。

不明な場合は、弊社までお問い合わせください。



更に、フロントパネルとタッチモニター間のシーリングをより効果的にするために、板金開口部の背面に、厚さ 3mm 程度の柔らかいフォームテープ (黒が推奨) などを貼ることを推奨します。

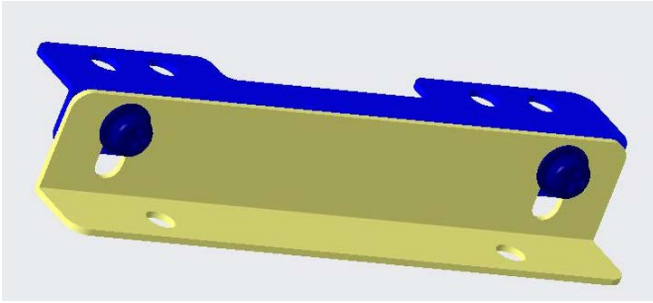
注意) フォーム材は非導電性のものを使用すること。



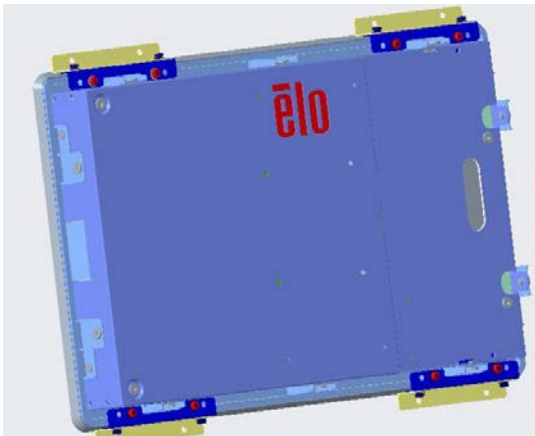
備考) フォームテープが入手しづらい場合は、フォーム材と両面テープを別々に購入し、まず両面テープを板金に貼り、細長くカットしたフォーム材を両面テープに貼ってください。

- 2) まず、ブラケットを以下のように組み立てる。

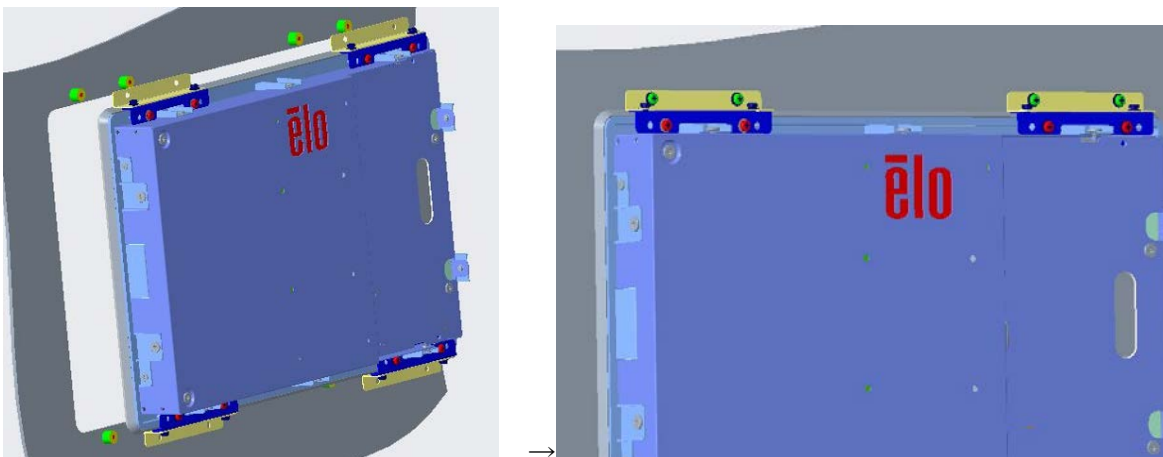
備考)ブラケット 1 個ずつタッチモニターに取り付けることもできます。



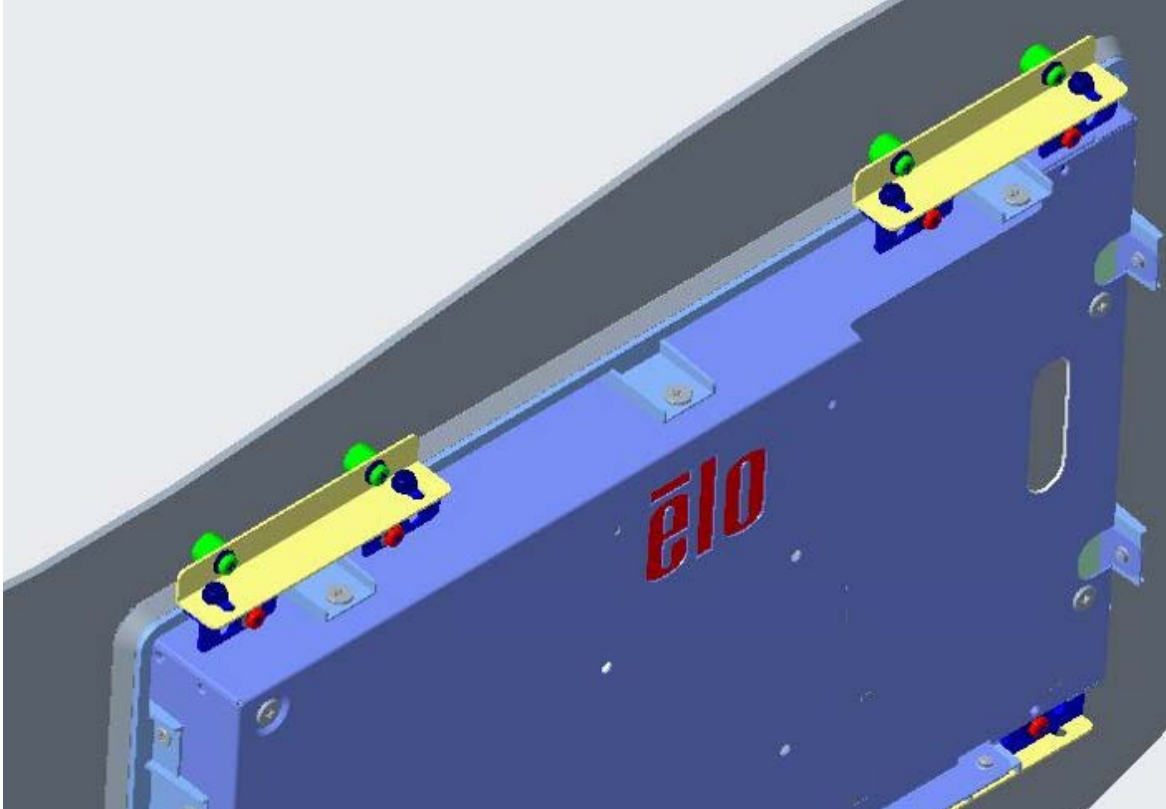
- 3) タッチモニター（以降 TM）に Flush mount 用の組み立てたブラケットを取り付け、M4 ネジで固定する。（図中赤色のネジ）る。



- 3) 背面側からお客様のフロントパネル背面に TM を取り付け、ネジ（非同梱、図中緑色）で固定する。

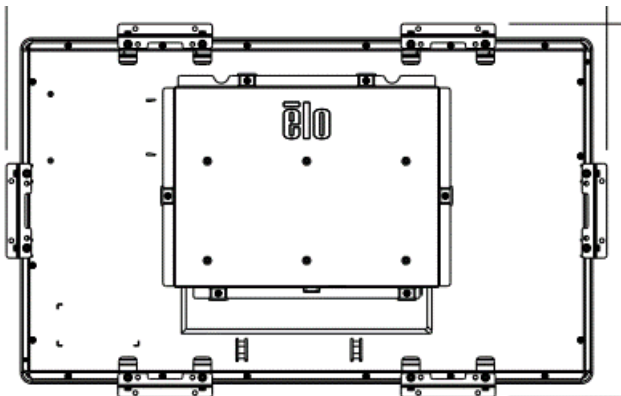


4)タッチ面と板金面の高さを微調整する場合は、側面の M4 ネジ（図中青色）を緩め、調整後に強く締め、完了です。

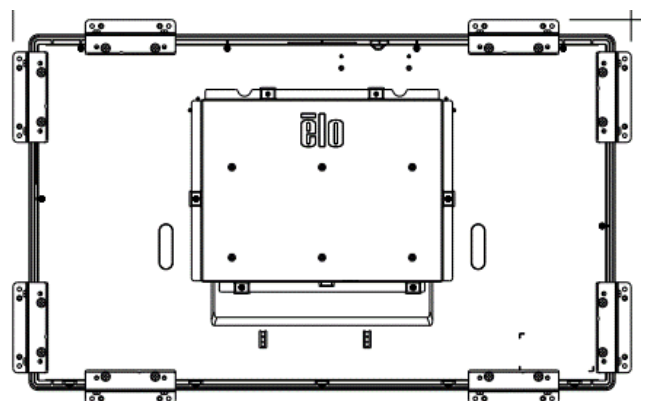


備考)2494L と 2794L は以下のようなブラケットの位置と構成になります。

2494L



2794L



3. VESA マウント穴を使用するモデル

対象モデル: 1291L

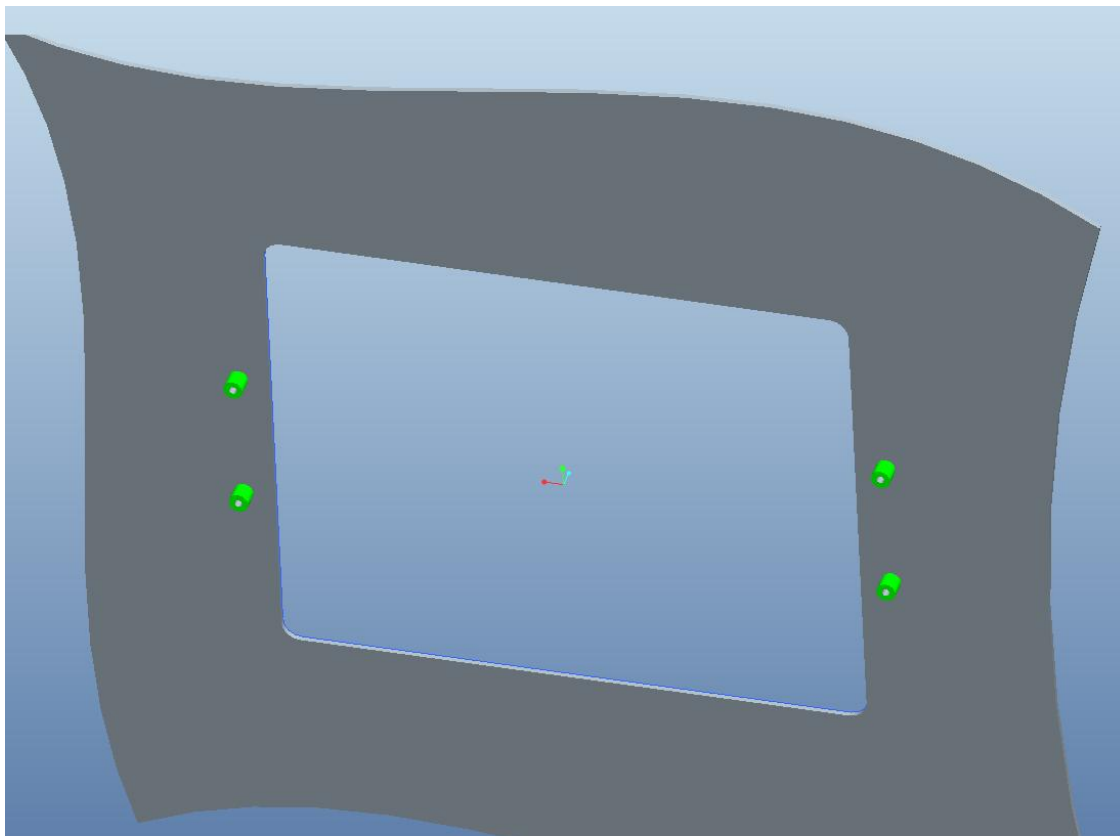
3.1 フロントパネル板金の裏側にボス（メスネジのスタッド）を取り付ける方法

- 1) 板金の裏面に M4 対応のボス（高さは 10mm 程度）を取り付ける。

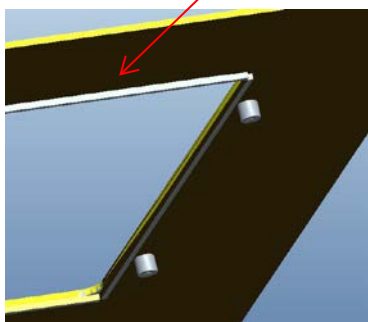
開口部寸法は、タッチパネルガラス寸法+1mm 程度にする。

ボスの取り付け位置は各製品図面を参照してください。

不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

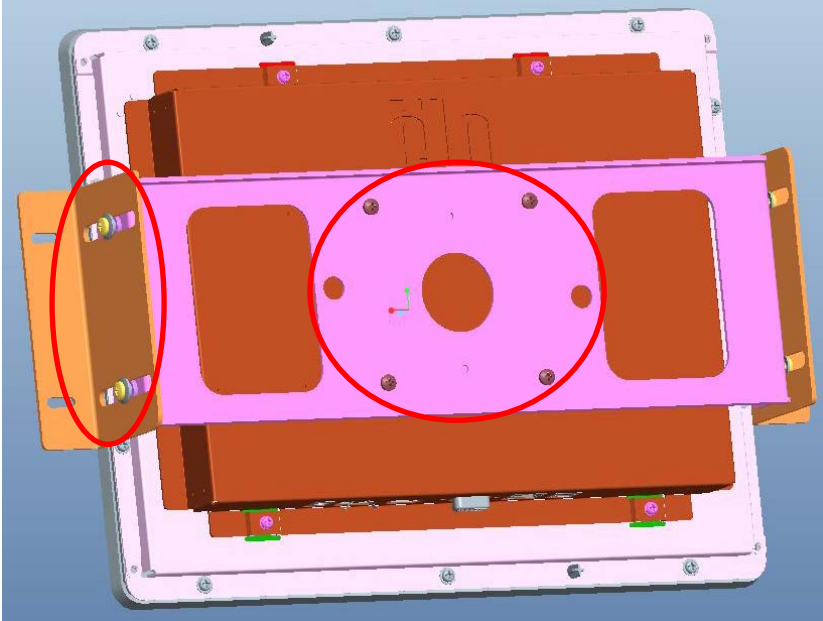


使用される板金が薄い場合は、フロントパネルとタッチモニター間のシーリングをより効果的にするために、板金開口部の背面に、厚さ 3mm 程度の柔らかいフォームテープなどを貼ることを推奨します。注意)フォーム材は非導電性のものを使用すること。



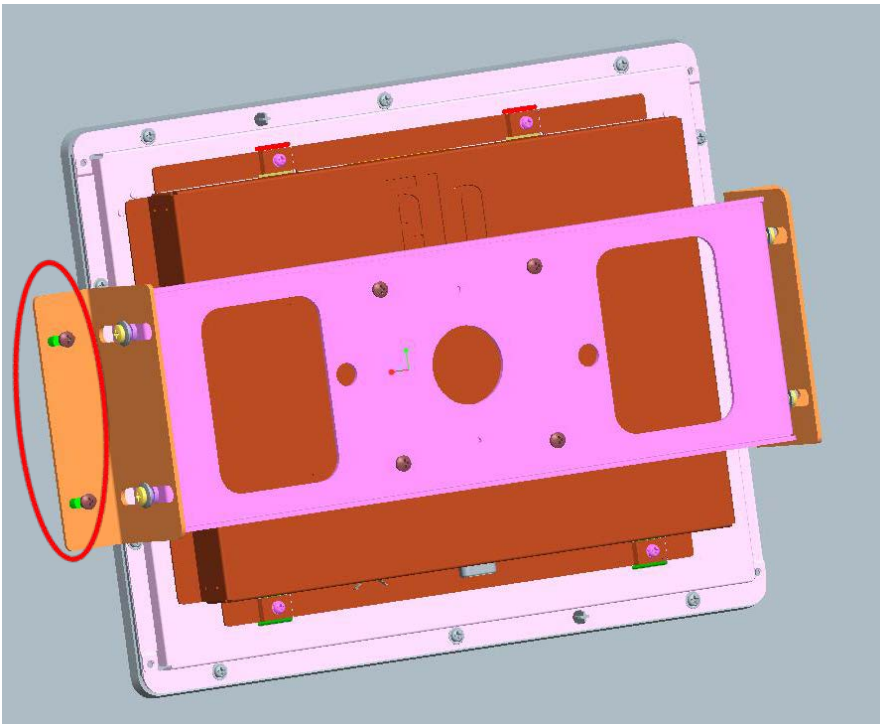
備考)フォームテープが入手しづらい場合は、フォーム材と両面テープを別々に購入し、まず両面テープを板金に貼り、細長くカットしたフォーム材を両面テープに貼ってください。

- 2) タッチモニター（以降 TM）に Flush mount 用の組み立てたブラケットを取り付ける。
 - a) VESA 穴部 4 個
 - b) 左右各 2 箇所



備考)左右のネジは後で、高さ調整を行うために、緩やかに閉めます。

- 3) フロントパネル背面側から TM を取り付け、左右の各 2 箇所の M4 ネジ（非同梱）でフロントパネルと固定する。



4) タッチ面と、フロントパネル面の高さが一致するように調整後、左右のネジを固定して、完了です。

